



3D Disto Software
for Windows®

Leica 3D Disto Tutorial



「プロジェクター」による据付

- when it has to be **right**

Leica
Geosystems

Installation with «Projector»

建築部材の据付

このガイドでは、階段を例に、建築部材を取り付けるための位置だし方法をご紹介します。

これは特殊な例ですが、このような場合でも**3D Disto**のプロジェクター機能を活用することができるという事例です。



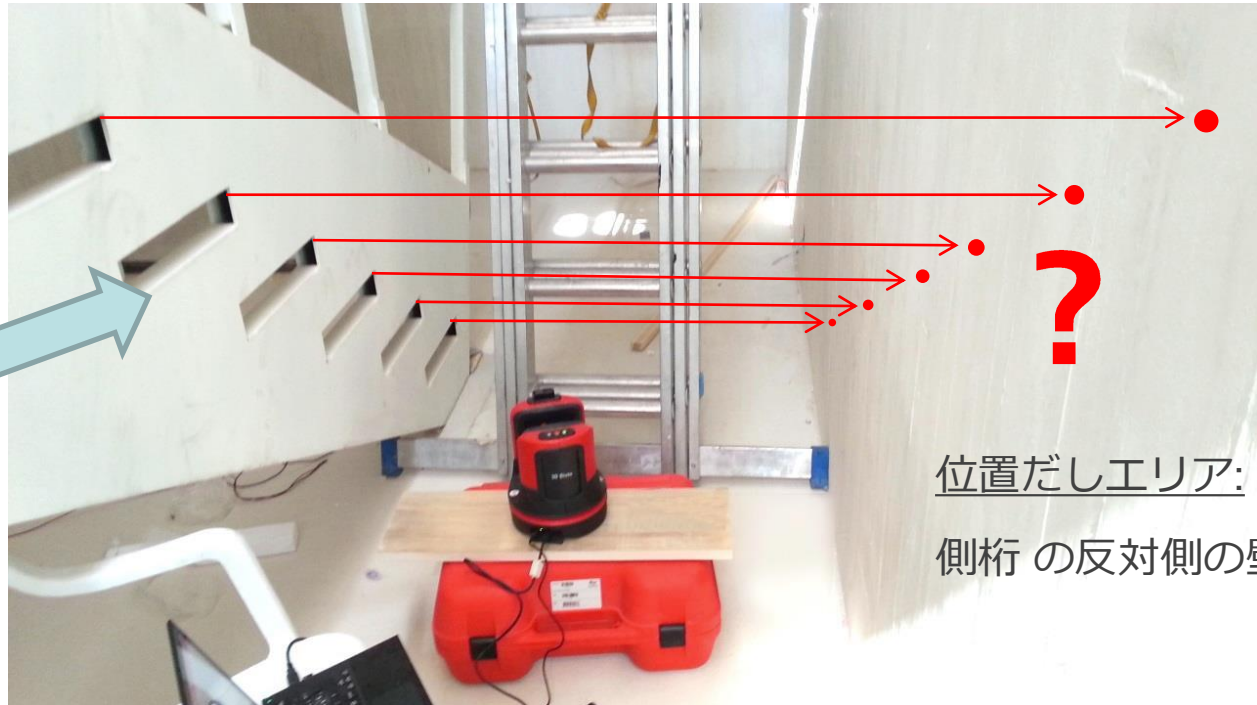
Installation with «Projector»

作業内容と本体のセットアップ

基準場所:

定位置に設置された階段の側桁 (がわげた) ※

※階段の踏板を差し込む板



位置だしエリア:

側桁の反対側の壁

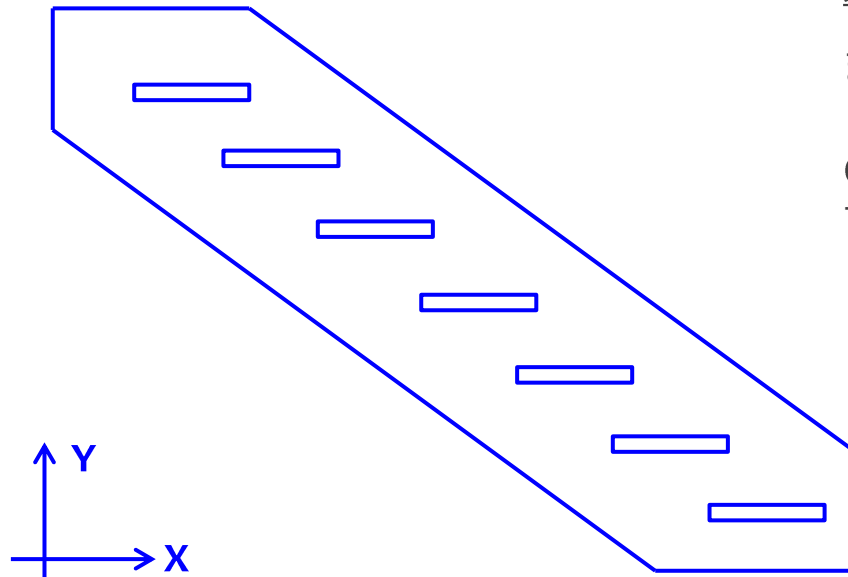
ステップ 1:

側桁および壁から**50cm**以上離れたところで、かつ低すぎない場所に**3D Disto**を置いてください。測定面に対して正面からレーザー照射する必要があるためです。三脚や椅子などを活用してください。

本体を置く場所は、必ずしも側桁と壁の間である必要はありません。

Installation with «Projector»

位置だしデータの準備

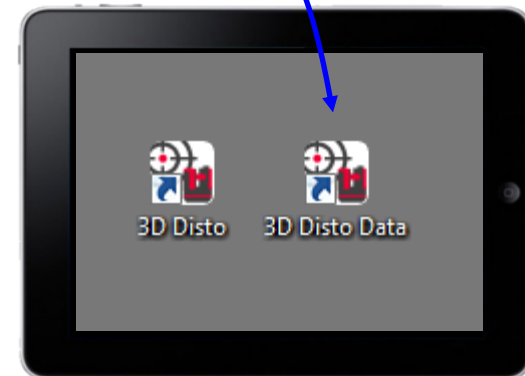


ステップ 2:

まずはじめに、側桁のデータを準備してください。

CADで設計したデータでも、**3D Disto**で測定したデータでも構いません。

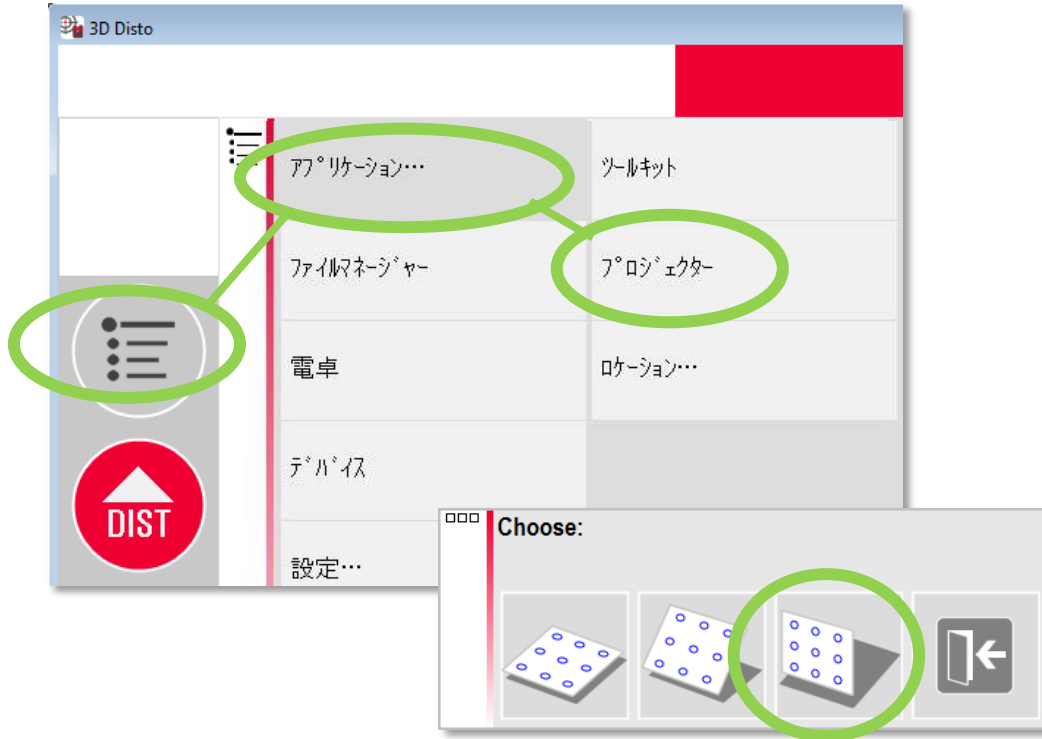
DXF



- X軸 / Y軸 の2次元のDXF、または CSV データを作成してください。Z軸(高さ)が入っているデータ、3次元データは不可です。
- デスクトップの "3D Disto Data" の "import" フォルダにデータをコピーしてください。

Installation with «Projector»

プロジェクター機能の起動



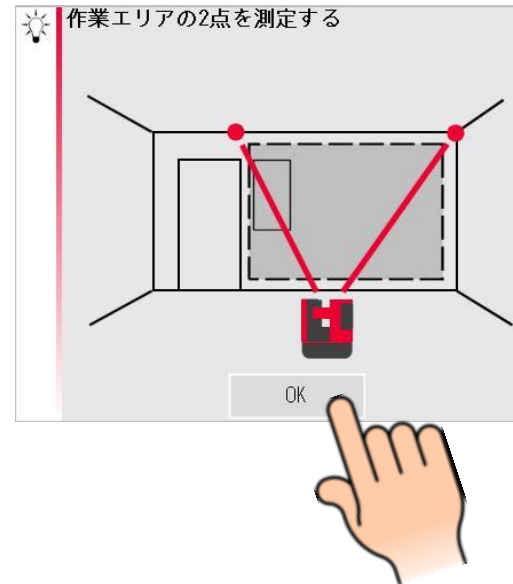
“壁面”を選択。

Installation with «Projector»

基準の測定

"作業エリアの2点を測定する"
というポップアップが現れます。

先ほど "壁面" を選択したので、
3D Disto にどこが壁面なのか
を登録する必要があります。



このチュートリアルで説明するケースは、作業エリア(側桁)と実際に位置
だしする場所(壁)が異なる特別な場合です。けれども、通常の場合と同様、
プロジェクター機能を使って作業することが可能です。

OK を押してポップアップを閉じます。

Installation with «Projector»

基準の測定

ステップ 3:

側桁の2点を測定します。この2点は、なるべく水平になるよう測定してください。

これで **3D Disto** に、基準の場所と位置だしの方向を登録しました。

チェックマークを押して作業を続けます。



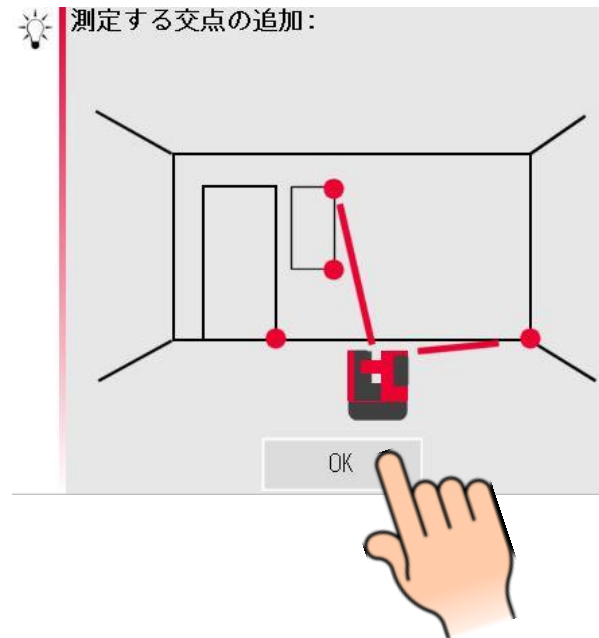
Installation with «Projector»

現場とインポートデータを合致させる点の測定

“測定する交点の追加”というポップアップが現れます。

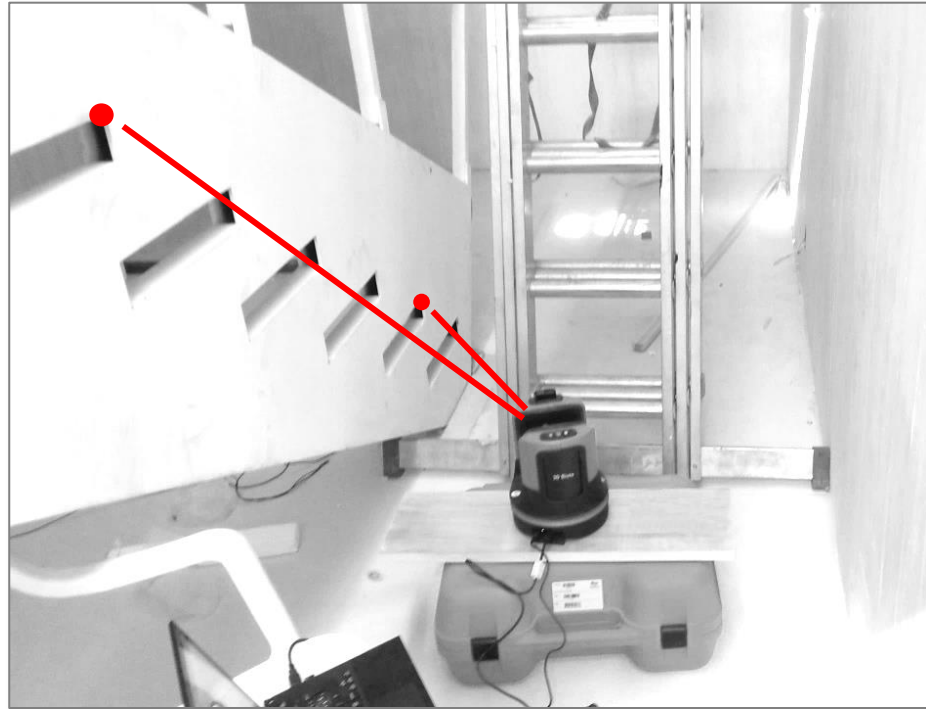
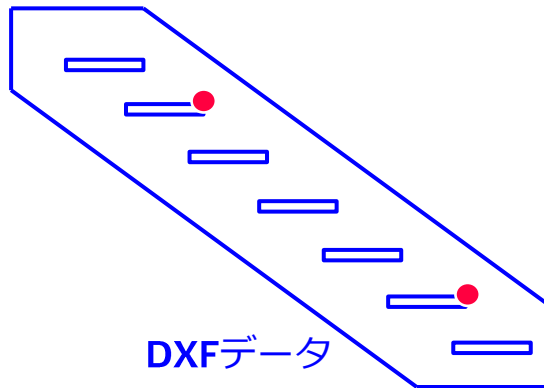
ここで測定する点は、作業現場とインポートするDXFデータを合致させるために必要な点です。

OK を押してポップアップを閉じます。



Installation with «Projector»

現場とインポートデータを合致させる点の測定



ステップ 4:

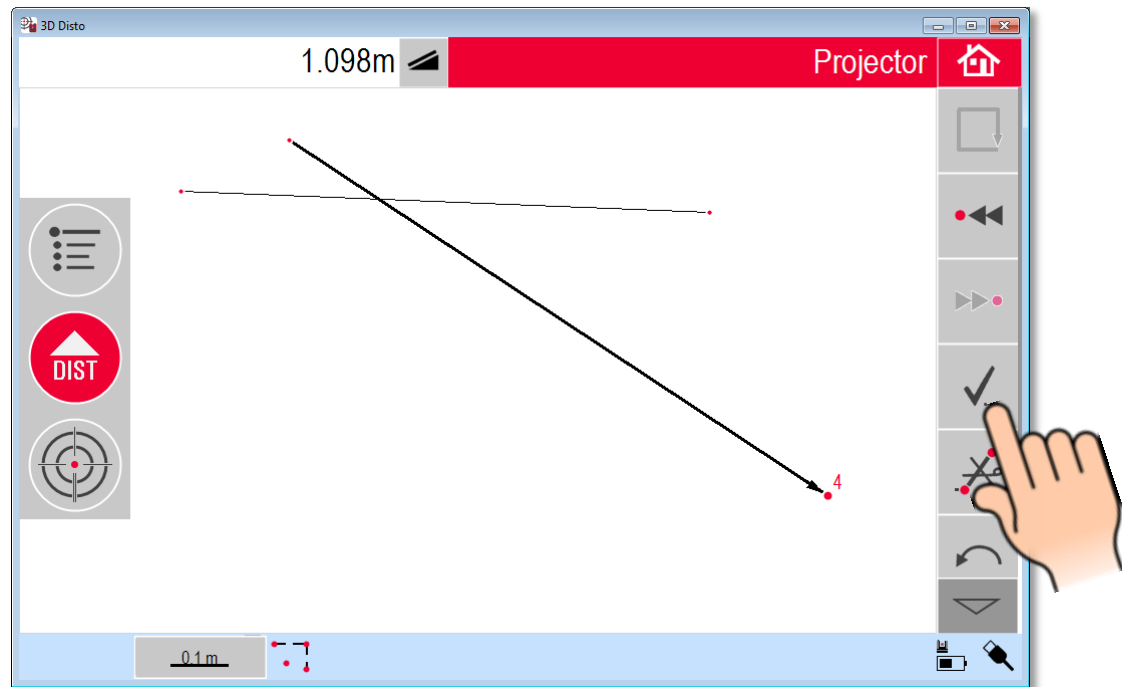
最低2か所、測定してください。この点は、インポートするDXFデータに必ず入れてください。作業前に位置を確認したい点があれば、そちらも測定します。

Installation with «Projector»

現場とインポートデータを合致させる点の測定

画面には、基準線を測定した水平方向の線と、側桁の位置を測定した垂直方向の線が表示されています。

オプション操作：
"線を切る"ボタンで不要な線を削除できます。線を結んだり、削除したりという操作は、通常通り可能です。



必要な点をすべて測定後、チェックボタンを押します。

Installation with «Projector»

データのインポート

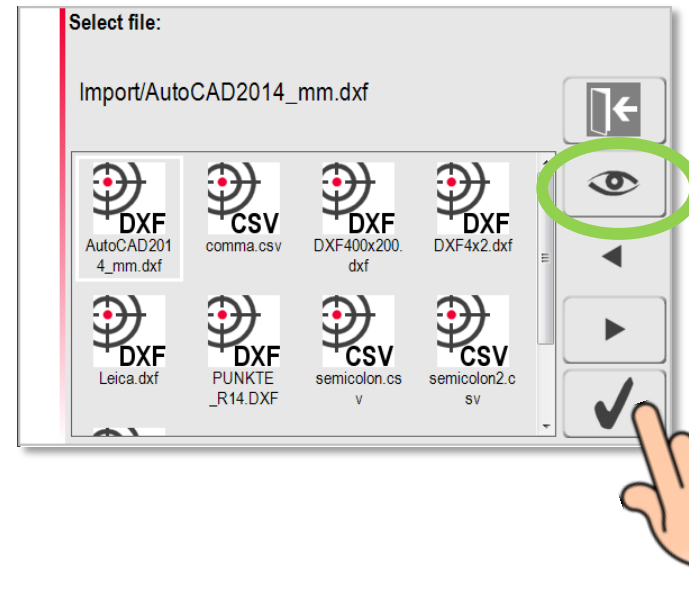
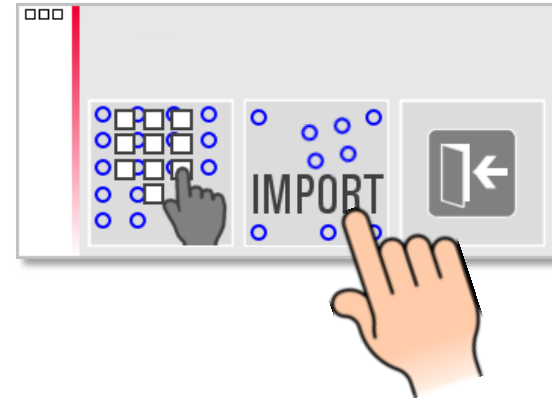
ステップ 5: データのインポート

グリッドとインポートデータの選択をするポップアップが現れます。

“IMPORT” ボタンを押します。

リストの中から、**DXF**ファイルを選択します。ビューボタンでデータの寸法を確認することもできます。(ビュー画面上に寸法が表示されます。異なる場合は設定から単位変更を行ってください。

チェックマークを押します。



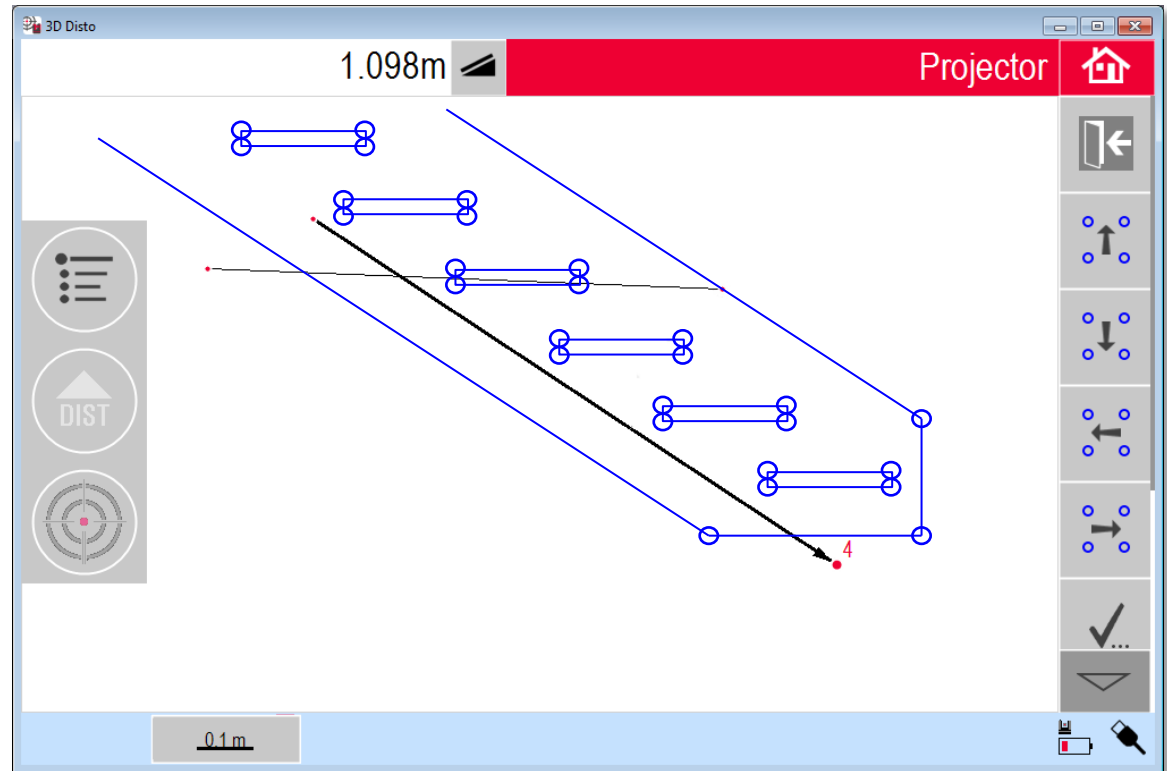
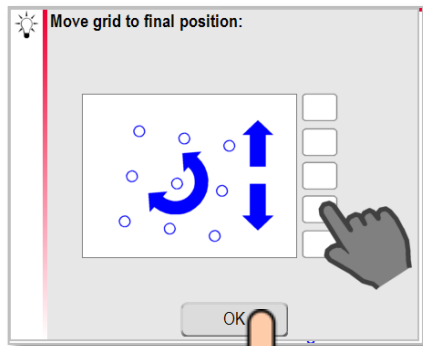
Installation with «Projector»

現場とインポートデータの合致

ステップ 6: データの合致

インポートデータを正確な位置に動かすよう指示するポップアップが現れます。

OKを押します。

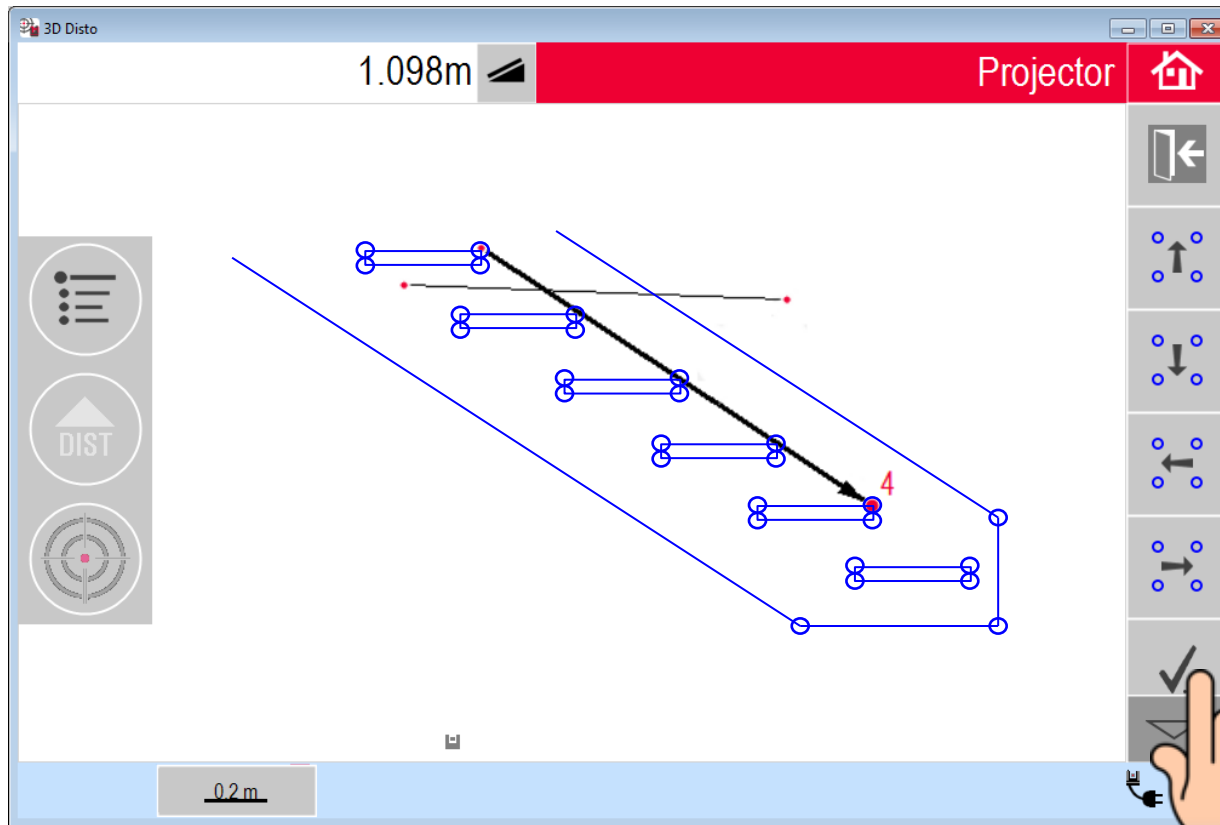


DXF データがインポートされています。
位置だしする正確な場所にデータを移動する必要があります。

Installation with «Projector»

現場とインポートデータの合致

測定結果とデータが合致するまで、DXFデータを動かします。

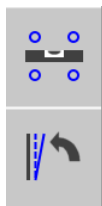


戻る

矢印の方向にデータを動かす

作業終了後、選択

他のツール:



リセット



平行に回転 (線を選択するか線を引く)



90° 回転



選択した2点の合致

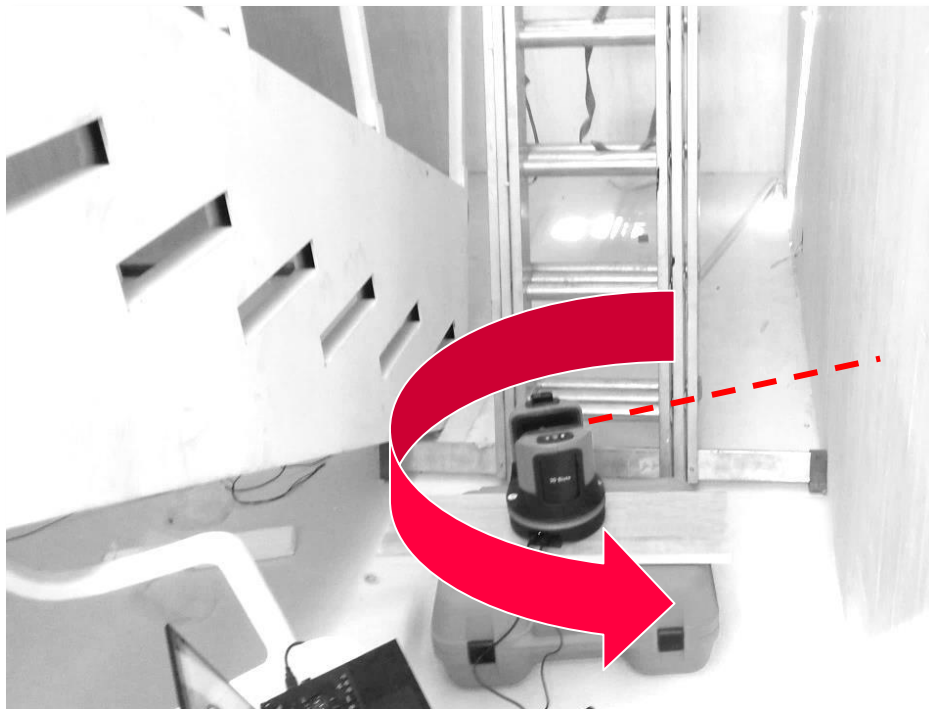
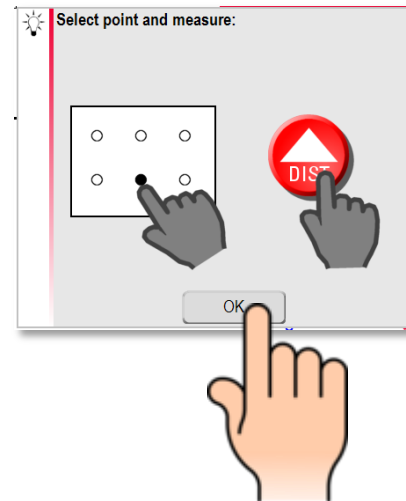
- when it has to be **right**

Installation with «Projector»

位置だし

ステップ 7: 点のマーキング

位置だしの準備完了です。OKを押します。

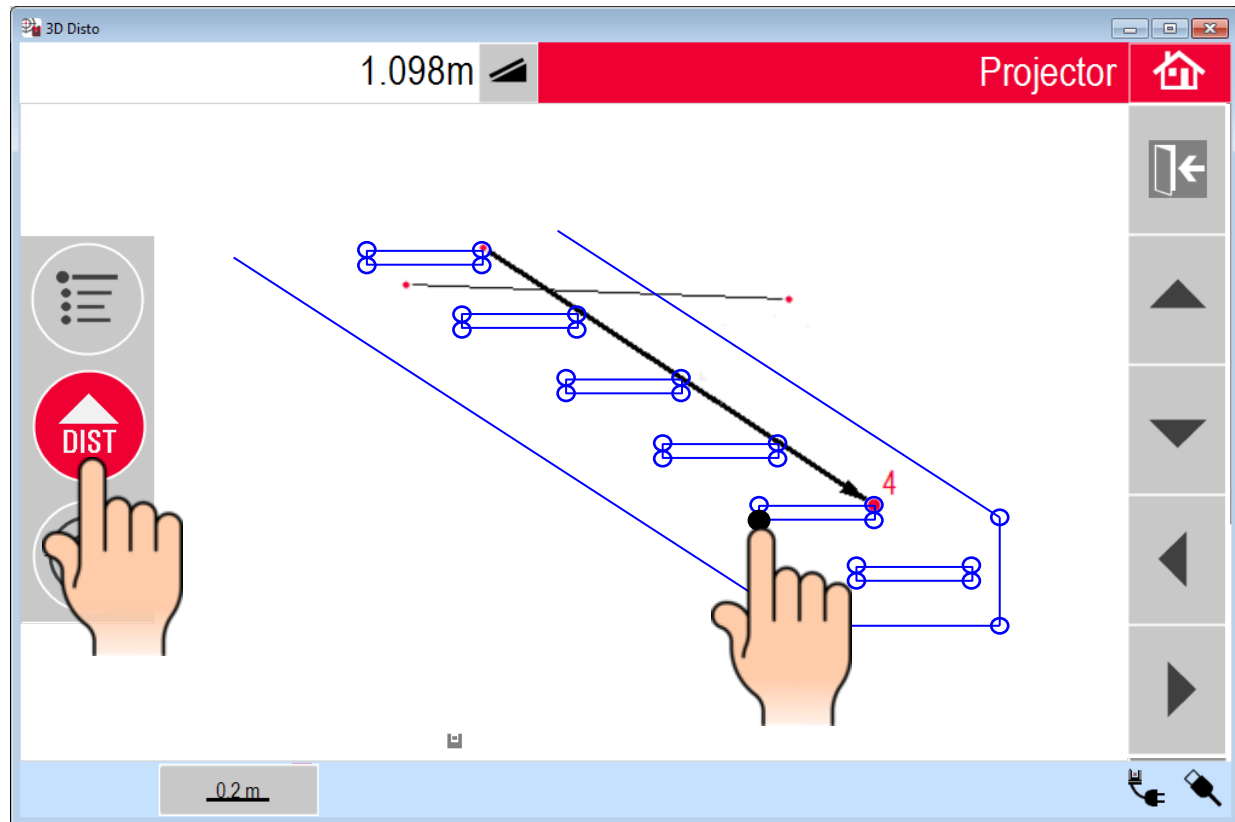


3D Distoを壁側に回転させます。

Installation with «Projector»

位置だし

位置だした
い点を選択し、
DIST ボタン
を押します。

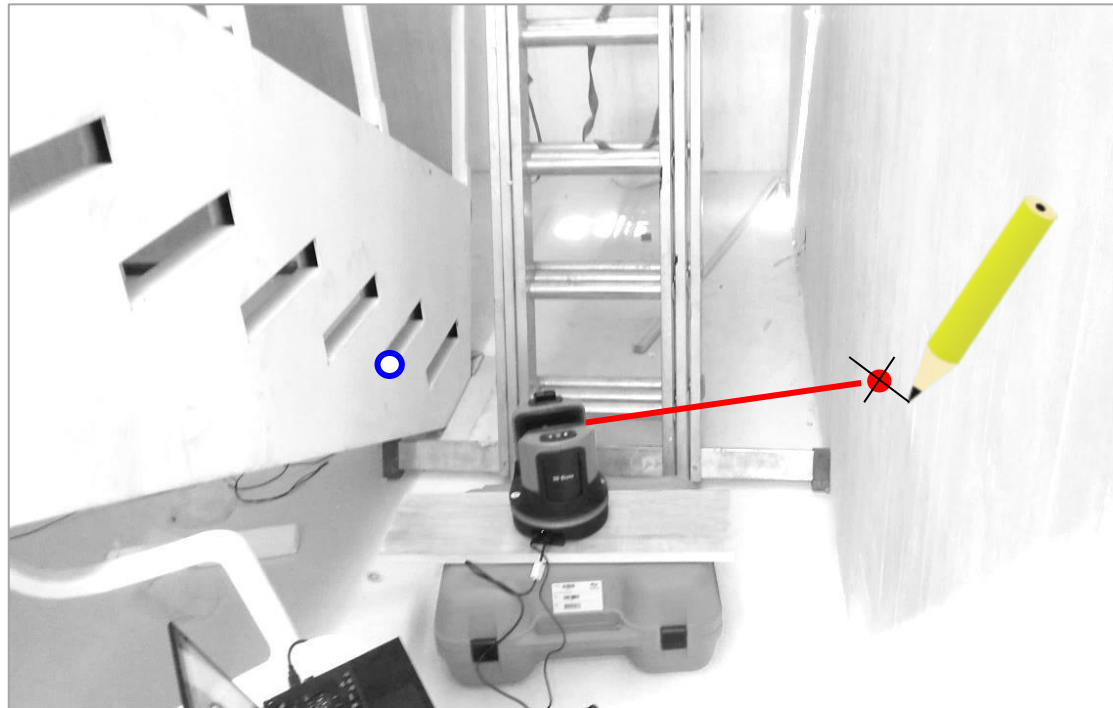


Installation with «Projector»

位置だし

3D Disto は選択した点を順にレーザー照射していきます。

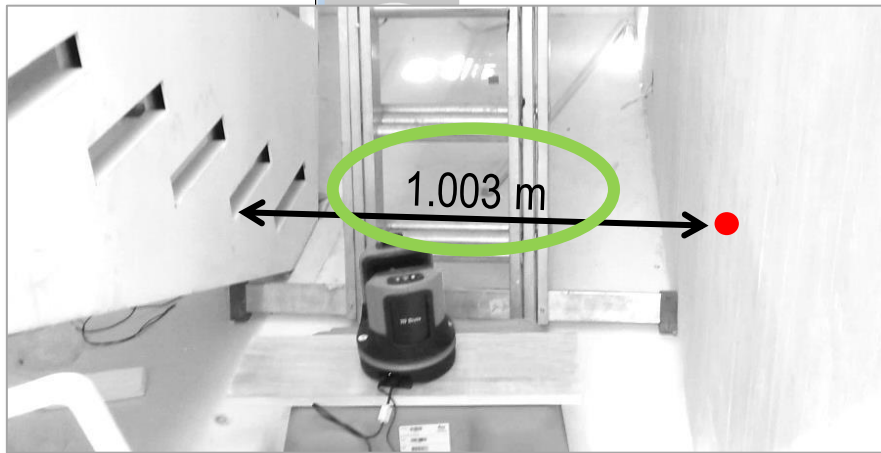
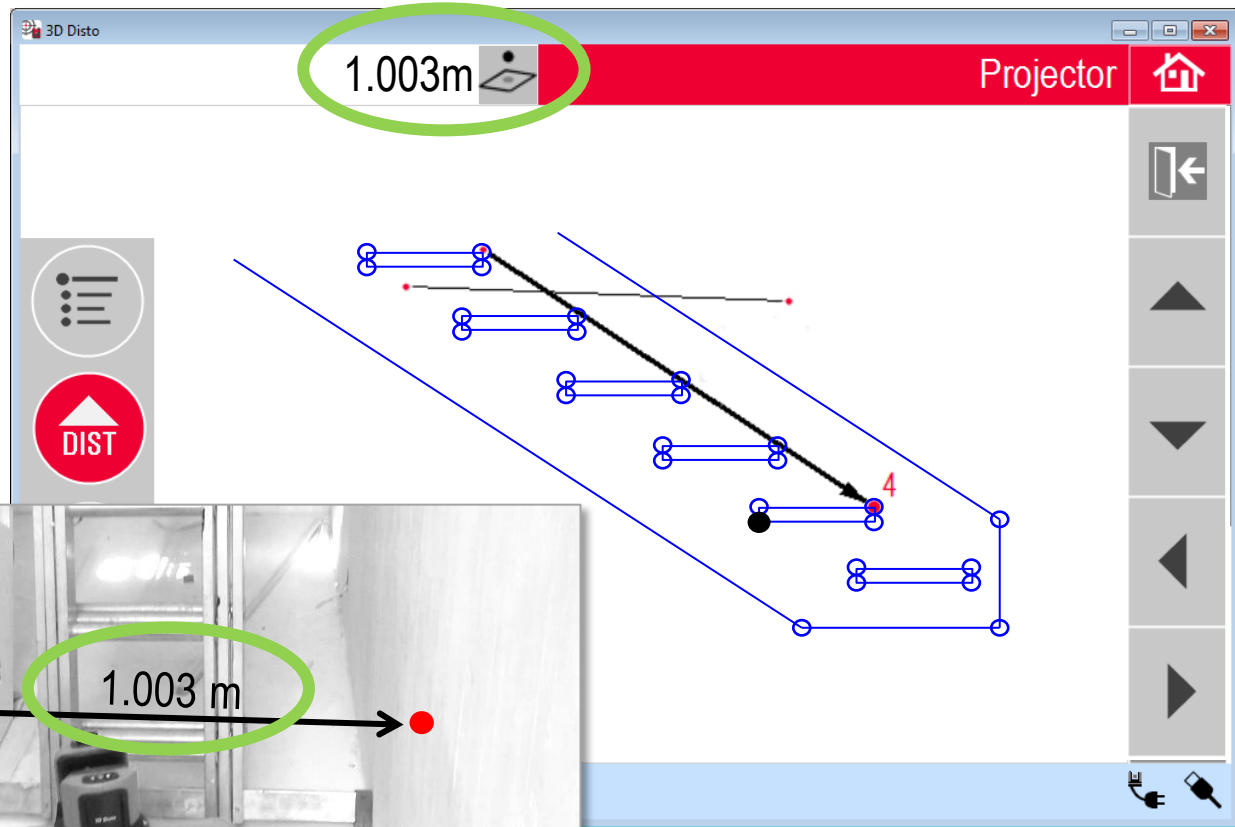
レーザーが点滅した場所が正確な位置です。



Installation with «Projector»

位置だし

3D Distoの
画面上には、
位置だし点か
ら基準までの
距離が表示さ
れます。



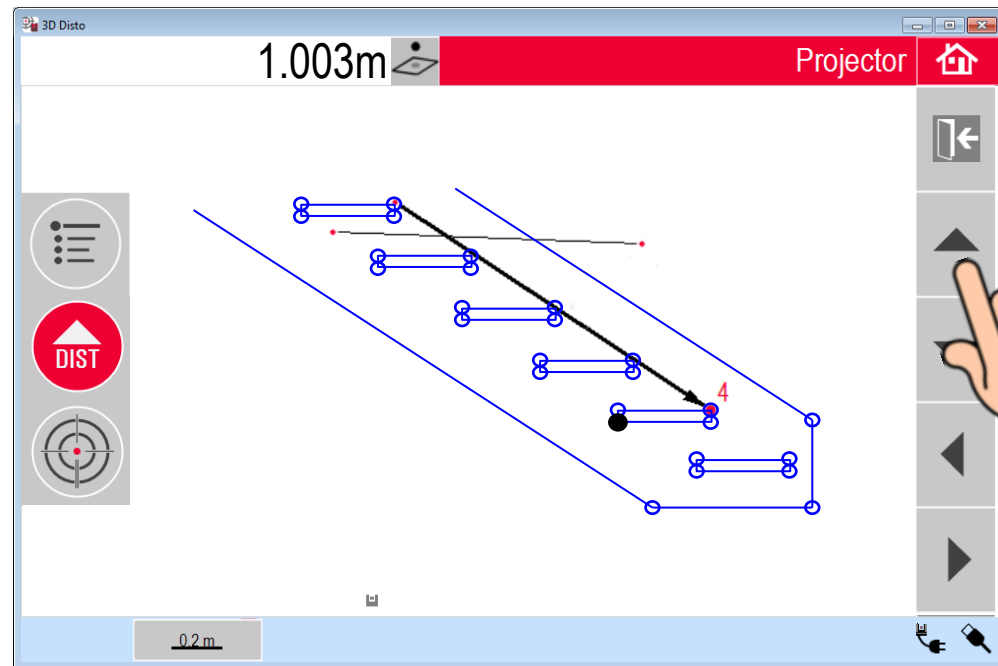
Installation with «Projector»

位置だし

次の点は、点を選択するか、矢印ボタンを使ってください。

そしてDISTを押します。

etc.



以後は、PC操作は必要ありません。
リモートコントローラを使って、順に点
を選択していくことができます。

Leica 3D Disto myWorldへの登録



myWorldで3D Distoの製品登録を行うと、
下記サービスを受けることができます:

- 保証延長
- ライセンスキーの発行
- チュートリアル参照
- ソフトウェアの無料アップデート
- サポート
- マニュアルのダウンロード

my world

- when it has to be right **Leica**
Geosystems

マイサポート

- 新規サポートの依頼
- サポート履歴
- 各サポートの内容

ログイン

メールアドレス

パスワード

ログイン

登録
パスワードを忘れた場合
ライカサポートに連絡

Welcome ! myWorld@Leica Geosystems

myWorld はお客様と販売店の皆様へ様々なサービス、情報、トレーニング資料を提供させていただきます。myWorldを使えば、いつでも必要なサービスにアクセスすることができます。お客様の仕事をより効率的なものとしたり、お手持ちの器械を簡単にアップデートしたりするための最新の情報をお届けします。ぜひmyWorldをご活用ください。そこにはお客様が必要とする全てのものがそろっています。

myWorldはInternet Explorerによる使用に最適化されています。

<https://myworld.leica-geosystems.com>